

道の駅 「みそぎの郷 きこない」



所在地：北海道上磯郡木古内町字本町338-14
 延床面積：858㎡
 構造・規模：鉄骨造、平屋建
 運営：一般社団法人 木古内公益振興社
 設計：株式会社建築設計事務所／南伊達計画所
 照明計画：南イリス
 施工：建築／茂泉・高木・川瀬 経常建設共同企業体
 電気／榊電・清 経常建設共同企業体
 オープン：2016年1月

S377

北海道新幹線木古内駅前(南口)の広域観光拠点施設である道の駅「みそぎの郷 きこない」は、道南スギをふんだんに使用したリラックスできる道南の魅力を発信する施設。照明は省エネで、かつ高天井による器具交換の困難さを解決するLED照明を全館に採用しています。

北海道新幹線が北海道に上陸して最初の駅である木古内駅前に誕生した道の駅

道南スギで木の温もりが感じられる空間を演出し、かつガラスを多く使った明るい施設に仕上がっている、道の駅「みそぎの郷 きこない」は、道南観光の拠点となる北海道新幹線木古内駅前にオープン。木古内をはじめ、北海道の発祥の地・道南9町(渡島西部4町、檜山南部5町)の魅力を発信する施設で、高品質な情報提供を行う「観光コンシェルジュ」や魅力ある周辺地域の逸品を集めた「お土産・特産品売場」、それに地場食材の持味を最大限に引き出した料理を提供する「レストラン『どうなんデス』」、伝統神事「寒中みそぎコーナー」などで構成されています。

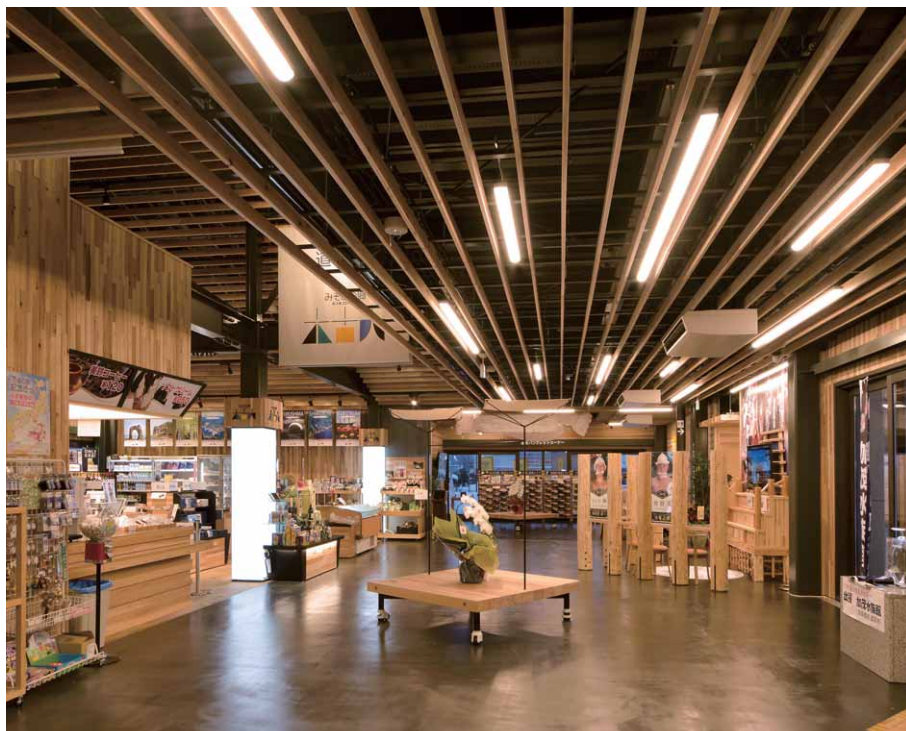
木製ルーバーの意匠天井に溶け込んだLED照明で、省エネしながら快適な光空間を実現

寒中みそぎコーナーや道南スギステージ、チャイルドコーナーを配置した中央にあるホールの照明は、木製ルーバー天井の意匠と一体感をもたせるため、LEDベースライトTENQOOシリーズ直付形を採用。木製ルーバー天井と調和した快適な光空間をつくりながら眩しさを抑制し、かつ省エネを実現しています。

お土産・特産品売場の照明は、木製ルーバー天井とした高天井構成のため、遠くまで光が届くライティングレール用LEDスポットライト(演色性Ra85以上)を採用し、道南ならではの食材、北海道ならではの土産品の魅力を引き出して、思わず手が伸びてしまうような空間に活気と賑わい感のある売場を演出しています。

レストランの照明は、道南スギの木組天井とした下方に、LED電球ビームランプ高演色形をランダムに散りばめ、ダイナミックな木組天井の表情や光のかたちの空間を演出し、眩しさを抑えたいくつろぎ感のある空間が形成されています。

トイレの照明は、LED照明と人感センサーとの連動により、人の動きを検知して人がいるときは100%点灯、いないときは消灯し、ムダな明るさをカットしています。



LEDベースライトTENQOOシリーズを採用し木製ルーバー天井と一体感を形成。中央に配置されたホールを多目的ルーム側から望む



ホール側から多目的ルーム方向を望む



ホール内に設けられている道南スギステージ



ホール内に設けられている寒中みそぎコーナー



廊下のLED照明



トイレ&パウダールームのLED照明



お土産・特産品の魅力を引き出しているLEDスポットライトによる「お土産・特産品売場」の照明



正面から望むお土産・特産品売場のLED照明



玄関・軒下のLED照明



特産品売場のLEDスポットライト(左)とレストランのLED電球ビームライト(右)



LED電球ビームライト高演色形を木組天井にランダムに配置したレストランの照明

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
エントランス ・ホール他	LEDベースライト TENQOOシリーズ	LEKT407401L-LS9	40	LED 消費電力: 28.5W
		LEKT407201L-LS9	40	LED 消費電力: 14.1W
		LEKT407201 W-LS9	11	LED 消費電力: 14.5W
特産品売場	LEDスポットライト	LEDS-30101LK-LD1	11	LED 消費電力: 33.2W
		LEDS-10101LK-LD1	21	LED 消費電力: 22.2W
レストラン 軒下	LED電球ビームランプ形 LEDダウンライト	LDR15L-D-W	48	LED 消費電力: 14.7W
		LEDD85910(S)	52	LED 消費電力: 8.0W